

2. 足羽川の治水について

2-1. 対象洪水の考え方

これまでの検討経緯

戦後最大降雨がいろいろな波形で発生した場合を想定する

主要121洪水の選定

検討対象地点の選定 (5地点)

5地点の各上位3出水 (2日雨量) を選定

5地点に共通する5洪水を選定

地域的に特異な降雨
(S40年型)

1次評価

評価の視点
・降雨の地域分布特性

対象洪水を4洪水に選定

流量規模・想定被害が
小さいS34、S39型

2次評価

評価の視点
・流量確率
・想定被害の規模

対象洪水を2洪水に選定
(S28.9型とS36.9型)

治水整備メニューの検討

- ・整備の場所、内容
- ・メニューの効果
- ・事業費・事業量
- ・社会・環境への影響
- ・将来の安全度向上への可能性

対象洪水の選定方法(まとめ)

九頭竜川水系の考え方

戦後最大の降雨

昭和28年型、36年型洪水の
2パターンで検討

検討対象洪水流量 (既設ダムを考慮)



